大洲市の
中学校部活動の地域展開
保護者説明会



１　部活動の地域展開はどうして必要なのか

２　国・愛媛県の動き

３　大洲市立中学校の今

４　大洲市の中学校部活動はどうなるのか

５　みなさんからいただいたご意見・ご質問

１　部活動の地域展開は
どうして必要なのか



部活動の地域展開はどうして必要なのか

①少子化の進展

少子化により、生徒数も減少して、
１つの学校では団体競技をはじめ、部活動の運営などが十分に実施できない。

②学校における働き方改革

学校における働き方改革の必要性が高まる中、
学校の教員のみに頼る指導体制が維持できない。

なぜ、部活動改革が必要なのか？

このまま何もしなければ・・・

年々、部活動が休部・廃部になっていく。
競技・分野の選択肢がますます少なくなる。
生徒数の減少に伴い、教員の配置人数も減少することで、顧問の配置が難しく、負担が大きくなる。

将来にわたり、子供たちがスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむ機会を確保するため

地域全体で支える
新たな仕組み（部活動の地域展開）が必要

新たな仕組み（部活動の地域展開）

部活動

（学校教育の一環）

●学校が主体となる学校教育活動
●学校の教員が自校の生徒に指導

部活動の『地域連携』

●複数校合同部活動、拠点校方式の導入
●部活動指導員等の配置

部活動の
地域展開

地域クラブ活動

（社会教育）

●地域の多様な主体が実施する学校外のスポーツ・文化芸術活動
●地域の指導者が地域の生徒に指導

２　国・愛媛県の動き



国の方針

少子化の進行や学校の働き方改革など、学校部活動を取り巻く環境が変化する中、国は、将来にわたり全ての子供たちが継続してスポーツや文化芸術活動に親しむことができる環境づくりを進めています。

令和７年12月には、文部科学省が**「部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関する総合的なガイドライン」を策定**し、**令和８年度から令和13年度までの６年間を「改革実行期間」**と位置づけ、学校部活動の地域展開に向けた取組を進める方針を示しました。

愛媛県の方針

愛媛県では、国の方針を踏まえ、少子化が進む中でも、子供たちが将来にわたってスポーツや文化芸術活動に継続して親しむことができるよう、学校と地域が連携・協力した活動環境の整備を進めています。

令和10年度末までに休日の学校部活動の地域展開を進めることを目指し、市町や関係団体と連携しながら、地域の実情に応じた取組を推進する方針としています。また、令和11年度から令和13年度までの後期には、平日も含めた地域クラブ活動の拡充や、持続可能で安定した運営体制の整備を進めることとしています。

公立中学校の部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関する愛媛県推進計画

背景

- 急激な少子化の進行【県内出生数の減少：10,399人(H26)→6,557人(R6)】
- 厳しさを増す中学生のスポーツ・文化芸術活動を取り巻く環境【県内の公立中学校部活動数の減少：1,790部(H27)→1,581部(R7)】
- 長時間労働や専門性・経験の乏しい競技など、学校部活動における教員の負担が過大

現状

- ○ 関係者の努力により、全ての市町が地域展開・地域連携（完了・準備中・検討中含）に着手している
- ○ 一方で、市町の実情（規模やマンパワー等）が様々な中、取組の進捗状況に濃淡が生じている
- ○ 全県的かつ喫緊の課題として、「指導者の確保・地域偏在解消」と「受け皿づくり」が挙げられる

【県内20市町の取組の進捗状況（R8.1）】

1 実証事業受託	11市町
2 推進計画策定	16市町
3 独自財源の確保	13市町
4 休日の地域展開完了時期目標公表	10市町

（部活動改革の取組状況に関する調査等より）

県目標

限られた資源の中、子どもたちの豊かなスポーツ・文化芸術活動の機会を確保していくためには、
県と市町が協働体制を整え、それぞれの強みを生かし弱みを補完しながら取組を加速・継続させる必要性

【国の改革実行期間前期】

令和10年度末までに全ての学校部活動で休日の地域展開を実現



【国の改革実行期間後期】

平日も含め地域クラブ活動の拡充や持続化・安定化に向けた改革を推進

県スローガン

「やりたい！」を、あきらめない。 ～オールえひめで挑む子どもの愛顔（えがお）と成長の居場所づくり～

県推進計画の考え方

- 主たる目的は、学校部活動をなくすことではなく、将来にわたって子どもが継続的にスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保・充実させていくことであり、その理念を幅広い関係者で共有。
- 目標年度はあくまで目安であり、地域の実情等を踏まえつつ、休日・平日に関わらず、できる限り前倒しでの実現を目指すことが望ましい。
- 国の改革実行期間後期の具体的な目標については、市町の進捗状況や国の中間評価等を踏まえ、別途検討。
- 地域クラブ活動においては、学校部活動が担ってきた教育的意義を継承・発展させつつ新たな価値を創出するなど、地域社会の維持・活性化につなげることも期待される。

※本計画に記載のない事項に対する考え方については、原則として『「部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関する総合的なガイドライン」文部科学省』に則るものとする

３　大洲市立中学校の今



大洲市立中学校生徒数推移　（学校基本調査ベース）

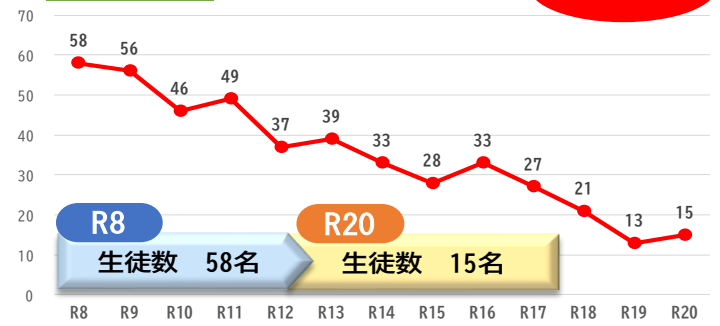
（令和8年5月1日現在）

	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	中3	中2	中1	小6	小5	小4	小3	小2	小1	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳
大洲東中	28	17	13	26	7	16	14	9	10	9	14	4	3	6	6
大洲南中	60	73	55	68	53	62	57	51	42	50	43	42	37	27	30
平野中	11	15	13	11	9	9	13	13	11	9	9	6	5	8	3
肱東中	31	36	23	23	25	27	18	25	20	23	18	8	8	9	16
新谷中	32	34	32	31	24	30	15	27	19	21	24	14	13	17	6
大洲北中	139	114	106	125	110	110	89	130	108	91	96	89	86	91	70
長浜中	43	37	35	29	38	27	19	18	14	16	12	11	4	14	13
肱川中	17	12	17	9	7	11	8	5	7	7	4	4	8	5	5
計	361	338	294	322	273	292	233	278	231	226	220	178	164	177	149
			993												490

生徒数の推移予想（R8～R20）

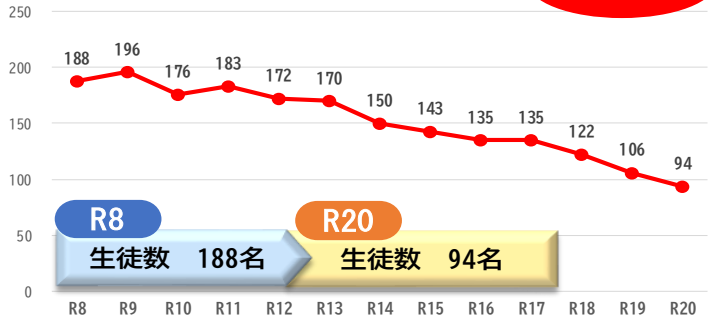
大洲東中

74.1％減



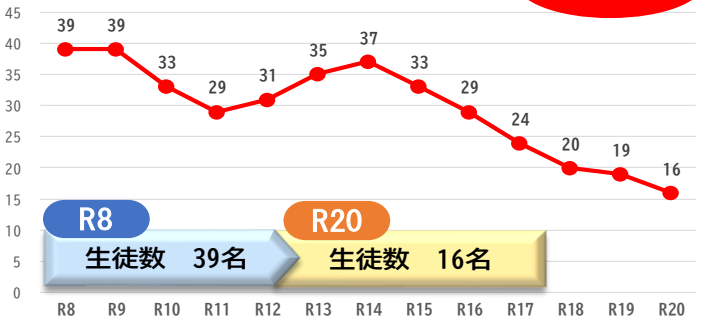
大洲南中

50.0％減



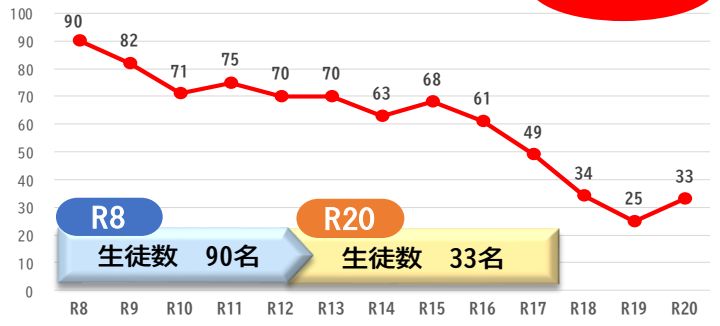
平野中

59.0％減



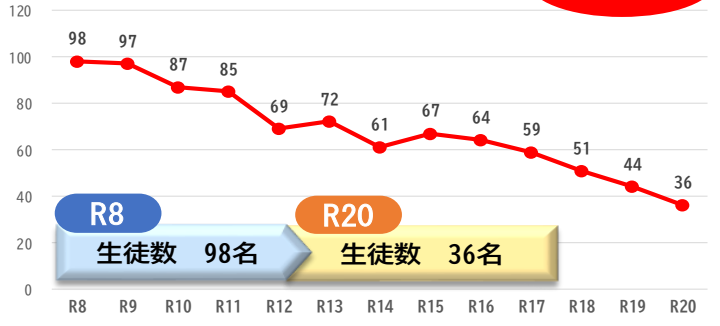
肱東中

63.3％減



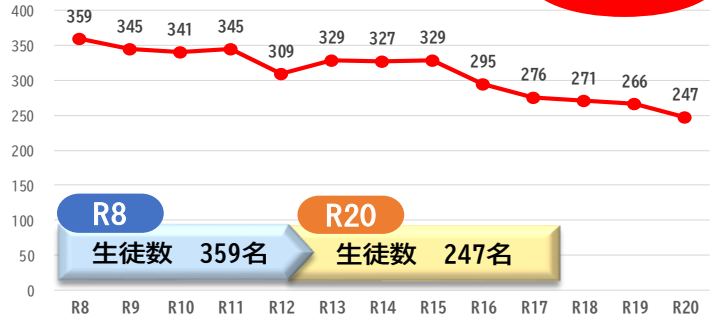
新谷中

63.3％減



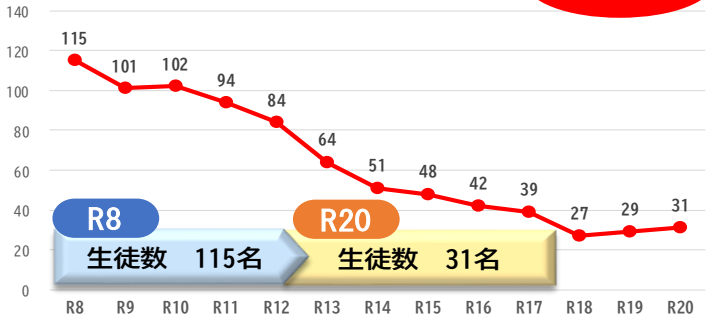
大洲北中

31.2％減



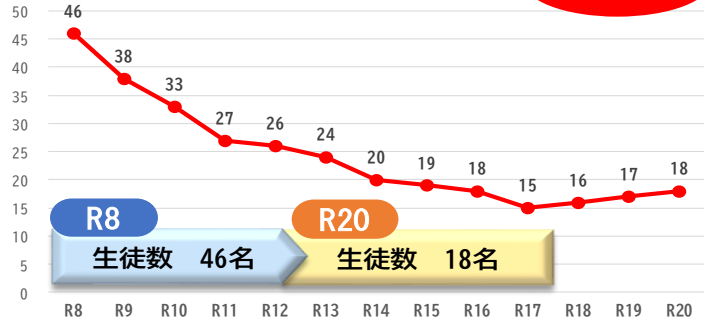
長浜中

73.0％減



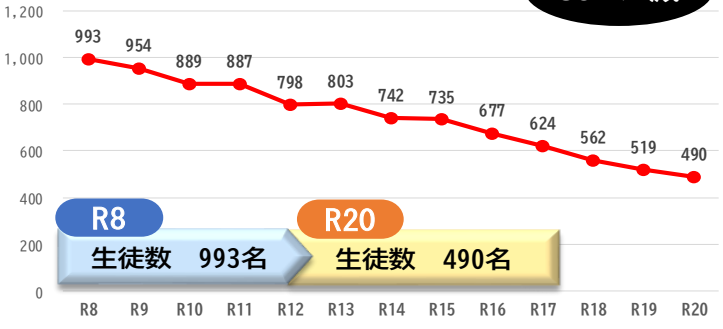
肱川中

60.9％減



全中学校

50.7％減



分類	種目	部活
運動部	12	41
文化部	5	16
合計	17	57

令和8年度 大洲市学校別部活動 生徒数(1～3年生)

R8.5.1

種　目	試合人数	最低人数	別	大洲南				大洲北				平野				肱東				新谷				大洲東				長浜				肱川				部員数
				1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計	
バスケットボール	5	5	男	7	0	13	20	3	5	5	13																									33
			女	3	6	1	10	5	8	7	20									3	7	4	14													44
サッカー	11	7	共					4	14	4	22					2	5	3	10					0	3	6	9	0	0	0	0					41
軟式野球	9	9	共	3	11	7	21	7	5	3	15	1	0	4	5					5	2	9	16	3	3	4	10	7	8	8	23	0	1	4	5	95
バレーボール	6	6	女	1	3	6	10	3	1	8	12	3	3	4	10	2	4	1	7									6	2	7	15	4	2	4	10	64
ソフトテニス	6	4	男	6	8	10	24	9	15	15	39					5	6	7	18													6	1	2	9	90
			女	3	6	2	11	0	5	8	13									3	11	0	14	2	5	6	13	2	2	6	10	5	1	2	8	69
卓　球	6	6	男					4	2	4	10									8	5	5	18					2	2	1	5					33
			女	6	4	3	13	5	12	4	21					5	5	3	13																	47
剣　道	5	3	男					1	2	1	4																									4
			女					2	1	1	4																									4
陸上競技			男					4	1	3	8																									8
			女					5	2	2	9																									9
水泳競技			男					2	4	5	11																									11
			女					0	2	2	4																									4
運動部員数				29	38	42	109	54	79	72	205	4	3	8	15	14	20	14	48	19	25	18	62	5	11	16	32	17	14	22	53	15	5	12	32	556
吹奏楽			共	7	8	8	23	13	8	11	32					3	7	9	19	4	3	7	14	2	2	1	5	5	12	3	20					113
美　術			共					11	9	11	31																									31
コンピューター			共					11	2	22	35																									35
園　芸			共					0	4	0	4																									4
生　活			共					2	4	2	8																									8
文　化			共	8	10	5	23					9	7	3	19									2	4	7	13	4	4	6	14					69
総合文化			共													1	7	4	12													1	5	3	9	21
文化部員数				15	18	13	46	37	27	46	110	9	7	3	19	4	14	13	31	4	3	7	14	4	6	8	18	9	16	9	34	1	5	3	9	281
合　計				44	56	55	155	91	106	118	315	13	10	11	34	18	34	27	79	23	28	25	76	9	17	24	50	26	30	31	87	16	10	15	41	837
生徒数				55	73	60	188	106	114	139	359	13	15	11	39	23	36	31	90	32	34	32	98	13	17	28	58	35	37	43	115	17	12	17	46	993
入部率				80%	77%	92%	82%	86%	93%	85%	88%	100%	67%	100%	87%	78%	94%	87%	88%	72%	82%	78%	78%	69%	100%	86%	86%	74%	81%	72%	76%	94%	83%	88%	89%	84.3%

運動部員数　556人（66.4%）
文化部員数　281人（33.6%）

令和8年度 大洲市学校別部活動 生徒数（1～2年生）

R8.5.1

種　目	試合人数	最低人数	別	大洲南			大洲北			平野			肱東			新谷			大洲東			長浜			肱川			部員数
				1年	2年	計	1年	2年	計	1年	2年	計	1年	2年	計	1年	2年	計	1年	2年	計	1年	2年	計	1年	2年	計	
バスケットボール	5	5	男	7	0	7	3	5	8																			15
			女	3	6	9	5	8	13							3	7	10										32
サッカー	11	7	共				4	14	18				2	5	7				0	3	3	0	0	0				28
軟式野球	9	9	共	3	11	14	7	5	12	1	0	1				5	2	7	3	3	6	7	8	15	0	1	1	56
バレーボール	6	6	女	1	3	4	3	1	4	3	3	6	2	4	6							6	2	8	4	2	6	34
ソフトテニス	6	4	男	6	8	14	9	15	24				5	6	11										6	1	7	56
			女	3	6	9	0	5	5							3	11	14	2	5	7	2	2	4	5	1	6	45
卓　球	6	6	男				4	2	6							8	5	13				2	2	4				23
			女	6	4	10	5	12	17				5	5	10													37
剣　道	5	3	男				1	2	3																			3
			女				2	1	3																			3
陸上競技			男				4	1	5																			5
			女				5	2	7																			7
水泳競技			男				2	4	6																			6
			女				0	2	2																			2
運動部員数				29	38	67	54	79	133	4	3	7	14	20	34	19	25	44	5	11	16	17	14	31	15	5	20	352
吹奏楽			共	7	8	15	13	8	21				3	7	10	4	3	7	2	2	4	5	12	17				74
美　術			共				11	9	20																			20
コンピューター			共				11	2	13																			13
園　芸			共				0	4	4																			4
生　活			共				2	4	6																			6
文　化			共	8	10	18				9	7	16							2	4	6	4	4	8				48
総合文化			共										1	7	8										1	5	6	14
文化部員数				15	18	33	37	27	64	9	7	16	4	14	18	4	3	7	4	6	10	9	16	25	1	5	6	179
合　計				44	56	100	91	106	197	13	10	23	18	34	52	23	28	51	9	17	26	26	30	56	16	10	26	531
生徒数				55	73	128	106	114	220	13	15	28	23	36	59	32	34	66	13	17	30	35	37	72	17	12	29	632
入部率				80%	77%	78%	86%	93%	90%	100%	67%	82%	78%	94%	88%	72%	82%	77%	69%	100%	87%	74%	81%	78%	94%	83%	90%	84.0%

運動部員数　352人（66.3%）
文化部員数　179人（33.7%）

大洲市立中学校の部活動

中学校	部活動の数	バスケットボール		サッカー	軟式野球	バレーボール	ソフトテニス		卓球		剣道	陸上	水泳	吹奏楽	美術	コンピュータ	園芸	総合文化等
		男	女				男	女	男	女								
大洲南	9	●	●		●	●	●	●		●				●				●
大洲北	17	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
平野	3				●	●												●
肱東	6			●		●	●			●				●				●
新谷	5		●		●			●	●					●				
大洲東	5			●	●			●						●				●
長浜	7			●	●	●		●	●					●				●
肱川	5				●	●	●	●										●
合計	57	2	3	4	7	6	4	6	3	3	1	1	1	6	1	1	1	7

令和８年５月１日現在

４　大洲市の中学校部活動はどうなるのか



大洲市部活動地域展開推進計画

国・愛媛県の動向を踏まえながら、令和５年から「大洲市地域部活動推進協議会」において協議・検討を進めてきた「大洲市の地域展開の方向性」が示されたことを受け、令和８年３月に**「大洲市部活動地域展開推進計画」**を策定しました。

学校部活動の果たしてきた教育的意義や役割を継承・発展させるための環境の整備、地域での多様な体験や幅広い世代との交流を通じた学びなど、子供たちのニーズに応じた活動ができる環境を整え、部活動の地域展開を進めていきます。

大洲市部活動地域展開推進計画

目　標　「学びと成長の居場所づくり」
～子供たちの挑戦を支えるおおずの力～

● 段階的な地域展開（ロードマップ）

まずは休日の部活動から地域クラブへ移行し、持続可能な活動体制の構築を目指します。

● 受け皿（認定地域クラブ活動）の整備

認定地域クラブ活動の整備を進め、生徒が継続して活動できる環境を確保します。

● 指導者の確保

地域の指導者や関係団体と連携し、専門的な指導が受けられる体制づくりを進めます。



ロードマップ（スケジュール）

	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度
	前期		中間評価		後期	
国	改革実行期間（令和8～10年度）			改革実行期間（令和11～13年度）		
愛媛県	令和10年度までに全ての部活動で休日の地域展開			平日も含め地域クラブ活動の拡充や持続化・安定化に向けた改革を推進		
大洲市	「休日の部活動」は令和10年の夏に終了			「平日の部活動」は令和12年の夏に終了（目標）		部活動の終了

※市町の進捗状況、中間評価を踏まえて別途検討

受け皿の整備（認定地域クラブ活動）

大洲市教育委員会

委託

運営団体

総合型地域スポーツクラブ

認定

支援策の検討

- ●大会等への派遣費用補助
- ●会場使用料等の減免
- ●体育施設等の優先利用など

認定地域クラブ活動

（中学校部活動の教育的意義を担う地域クラブ活動）

設立・運営

学校部活動移行型地域クラブ

- 地域クラブ（サッカー）
- 地域クラブ（軟式野球）
- 地域クラブ（ﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾙ）
- 地域クラブ（バレーボール）
- 地域クラブ（卓球）
- 地域クラブ（ｿﾌﾄﾃﾆｽ）
- 地域クラブ（吹奏楽）

地域立ち上げ型地域クラブ

- 地域クラブ（バレーボール）
- 地域クラブ（柔道）
- 地域クラブ（剣道）
- 地域クラブ（バドミントン）
- 地域クラブ（陸上）
- 地域クラブ（カヌー）
- 地域クラブ（よさこい）
- 地域クラブ（サッカー）
- 地域クラブ（●●●）

サッカー地域クラブ【学校部活動移行型】

■活動場所

徳森公園グラウンド、肱東中など

■活動時間

火曜日　18:30～20:00

土曜日　19:00～20:30

※都合により、変更する場合があります。

■会費

月額2,000円　※初回にスポーツ安全保険800円が必要

■その他

高校とも連携しながら活動しています。





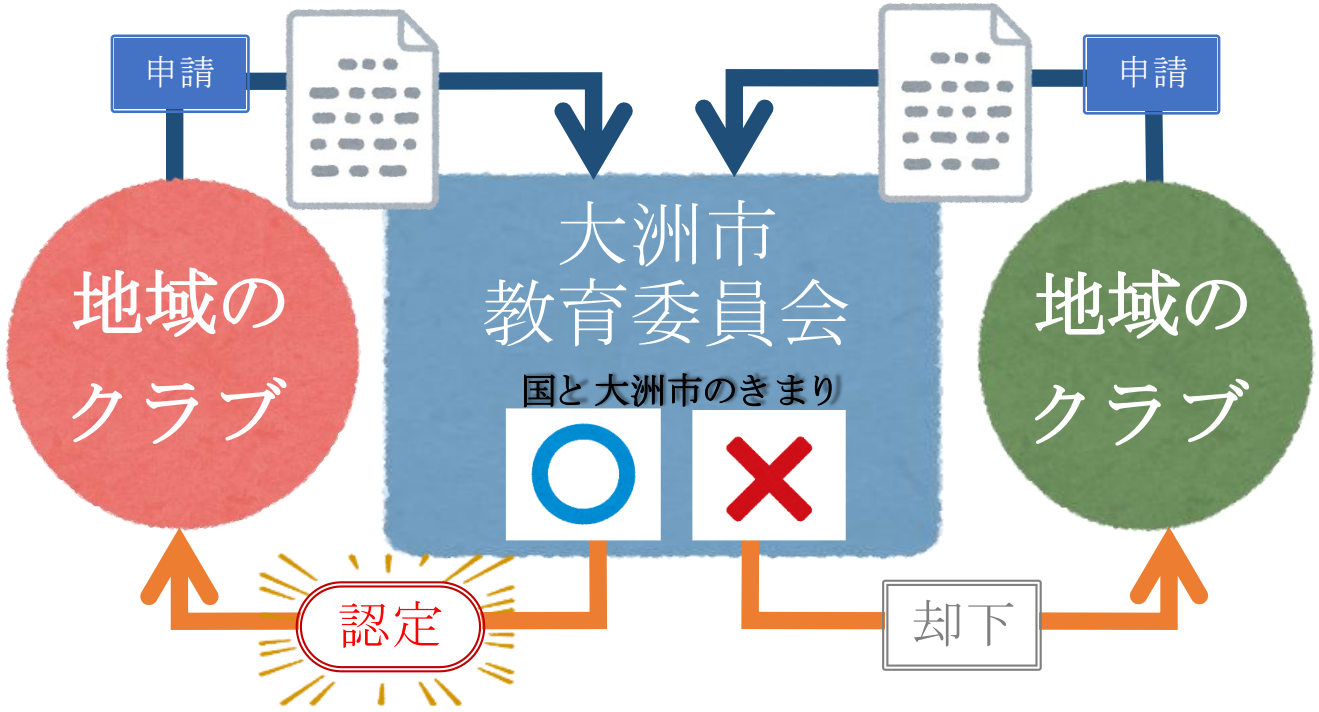
サッカー地域クラブへの移行状況

年度	Ｒ８		Ｒ９（予定）			Ｒ10（予定）	
チーム編成	総体・新人大会 ＥＰリーグ	その他の 大会等	総体・新人大会 ＥＰリーグ		その他の 大会等	総体・新人大会 ＥＰリーグ	その他の 大会等
単独で可能 （大洲北中）	部活動（単独）	部活動 （単独）	3・2 年生	部活動 （単独）	部活動 （単独）	地域クラブ	地域クラブ
			1年	2年生は、総体後、地域クラブに参加予定			
単独で不可能 （大洲北中以外）	合同チーム で出場 （五十崎中を含む）	地域クラブ	地域クラブ		地域クラブ		
サッカー部が ない中学校	Ｒ８は 出場不可						

練習	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
	部活動	地域クラブ	休息日	部活動	部活動	地域クラブ	休息日

地域クラブ活動は、やりたい人が参加する活動の一つです。

部活動のかわりに、
子供たちが楽しく、
安全に活動できるように、
国や大洲市が決めた
きまりを守って活動するのが



【 認定地域クラブ活動】　【 地域クラブ活動】

「認定地域クラブ活動」です。

認定地域クラブ活動とは？

国の認定要件等を基に、愛媛県が県内の基本的な考え方を示し、その基準に基づき認定制度を市で整備し、審査の上、**「認定地域クラブ活動」**として認定を行う。

【国の認定要件】

事　項	主な内容
①活動の目的・理念	学校部活動が担ってきた教育的意義の継承・発展 選抜等を行わず、市が定める対象区域において参加を希望する生徒を幅広く受け入れる。
②活動時間・休養日	**週２日以上**の休養日を設定 **週当たり１１時間程度の範囲内**の活動時間
③参加費等	国が示す参加費等の目安を踏まえて、**可能な限り低廉な参加費**等を設定

認定地域クラブ活動とは？

事　項	主な内容
④指導体制	**暴力・暴言・ハラスメント・いじめ等の不適切行為の防止徹底** ハラスメント等の行為や性犯罪歴がない等の確認 **適切な研修の受講**
⑤安全確保	責任主体が明確 参加者及び指導者人材が**適切な保険に加入**
⑥運営体制	関係法令を遵守 作成・公表した**規約**等に基づき**適切な運営** **適切な会計処理、営利を主目的とせずに運営**
⑦学校等との連携	活動方針、スケジュール、生徒の活動状況などの情報を共有

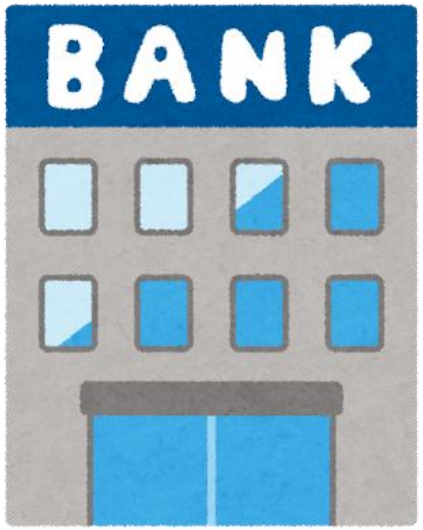
指導者の確保







指導者等を募集



人材バンク創設







マッチング

学校部活動移行型
地域クラブ
サッカークラブ

学校部活動移行型
地域クラブ
軟式野球クラブ

学校部活動移行型
地域クラブ
卓球クラブ

6　ご意見・ご質問



【ご意見・ご質問】
今後、地域展開していくのであれば、身近な地域や、各地域にクラブ活動を増やしてほしい。

【回答】
活動場所までの距離や保護者の送迎などが負担となり、子供が希望する活動に参加しにくい場合があることは、市としても課題と考えています。
地域展開に当たっては、スポーツ少年団や文化団体などと連携し、身近な場所で活動できる地域クラブを少しずつ増やしていきたいと考えています。

【ご意見・ご質問】
送迎はスクールバスなどでしてもらえるのか。

【回答】
現在のところ、地域クラブ活動への移動については、保護者による送迎をお願いすることを想定しています。スクールバス等の活用については、費用負担や運行調整、公平性の確保など、さまざまな課題があることから、現時点では実施が難しい状況です。今後も、子供たちが安心して活動に参加できる環境づくりに向けて、移動手段の確保について引き続き検討してまいります。

【ご意見・ご質問】
月謝等の負担はどのくらいになるのか。

【回答】
地域クラブ活動の月謝等は、活動内容や指導者、活動場所などによって異なるため、一律には決まっていません。
国では、保護者の負担を抑える観点から、月４回の活動で、月額2,000～3,000円程度を目安としています。
市でも、この目安を参考に、できるだけ保護者の負担を軽減できるよう検討していきます。

【ご意見・ご質問】
文化部はどうなるのか。

【回答】
文化部についても、地域で活動できる環境づくりを進めていきます。現在は、吹奏楽部について、学校や関係団体と話し合いながら、地域での活動の方法を検討しています。
その他の文化活動についても、コミュニティセンターなどと連携し、活動できる場所や機会を少しずつ広げながら、今後は、子供たちが参加できる活動の情報をお知らせしていきます。

【ご意見・ご質問】
意見をたくさん聞いて、進めてほしい。

【回答】
部活動の地域展開は、子供たちや保護者の皆さまにとって大きな変化となるため、皆さまのご意見を聞きながら進めていくことが大切だと考えています。
今後も、このような説明会やアンケートなどを通して、さまざまなご意見を伺い、地域の実情や子供たちの声を大切にしながら、よりよい環境づくりを進めてまいります。

大洲市教育委員会では、子供たちの
「やってみたい」という挑戦の気持ちを
応援するため「部活動の地域展開」に
取り組んでいきます。



